



新保 議員
介護保険第5期
計画策定について

震災時の対策について

質問

東日本大震災を教訓に地域防災計画の見直しを考えているとのことだが、当地域で想定される地震に対し、震災時対策をどのように強化するのか。

また、液状化対策や、化学工場被災時の対応はどうか。

市長答弁

震災時対策の強化については、防災面に配慮したまちづくりを進める必要があると考えている一方、市民の防災意識の向上も重要であり、啓発活



古川 議員
介護予防の
重要性について

介護保険、介護予防の
取り組みについて

質問

急激な高齢化、介護給付費の増加は、制度そのものを危うくしており、そのためにも要介護者にならない施策が最も重

要と思うが、介護予防サービスの現状や一般高齢者の現状把握、生きがい対策について伺う。

また、健康づくりセンターと高齢者の関わりは重要と考えるが、機能回復等の具体的施策について伺う。

市長答弁

本年3月の認定者数は、要支援1が210人、要支援2が351人で、そのうち約半数が介護予防サービスを利用している。

一般高齢者の現状把握については、健康診断や老人クラブ等での健康教室、高齢者現況調査などで把握している。

生きがい対策については、老人クラブ活動支援やシルバー人材センターへの就労支援のほか、各種文化活動や公民館活動など幅広く取り組んでいる。

健康づくりセンターについては、高齢者向けの器具の設置や、個々の体力に合った運動指

介護保険について

質問

第4期の介護保険事業計画に対し、これまでの介護認定、介護サービス利用実績について伺う。また、介護保険第5期計画策定の取組状況や、市民負担についての考え方はどうか。

市長答弁

第4期介護保険事業計画での認定者数は、平成22年度計画が3259人に対し、実績は3030人、保険給付費は平成

22年度計画値が47億4千439万円に対し、実績は48億7千619万円である。

介護保険第5期計画策定の取組状況については、今後実施予定のアンケート調査を基に、年度末までに第5期計画策定を進める。

また、市民負担については、保険給付の増加に伴って保険料負担も増えることから、アンケート結果を踏まえ、必要なサービス量の確保と適正な保険料負担について検討したいと考えている。

したという商工団体の調査報告などから、大きな影響を受けていると認識している。

雇用状況については、4月の当地域の有効求人倍率は0.70倍と、県平均の0.65倍をわずかながら上回っているが、先行き是不透明で震災の影響はこれから出てくるものと認識しており、今後もハローワークと連携し、就労支援に努めていきたい。

大震災後の糸魚川市の
経済、雇用動向について

質問

糸魚川市の経済に与えた影響と現状、雇用状況の見通しと対策について伺う。

市長答弁

当市経済については、6割の事業所が震災で売上げが減少

《その他質問項目》
・平和活動について